

ごみにしない・ごみを出さない3Rの取り組み

3R（スリーアール）は、**R**educe（リデュース：発生抑制）・**R**euse（リユース：再使用）・**R**ecycle（リサイクル：再生利用）の3つのRをとってまとめた呼び方です。3Rで目指すのは、ごみの焼却や埋立処分による環境へ負荷を減らし、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（循環型社会）をつくることです。

■ 高度経済成長⇒最終処分場のひっ迫⇒3R政策

第二次世界大戦後の日本は、1955年から高度経済成長に入り、大量生産、大量消費による大量廃棄の時代に入りました。同時に大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの産業公害が全国で発生し、住民の健康被害が深刻な社会問題となりました。それはいまでも続いています。



1970年代の東京都心



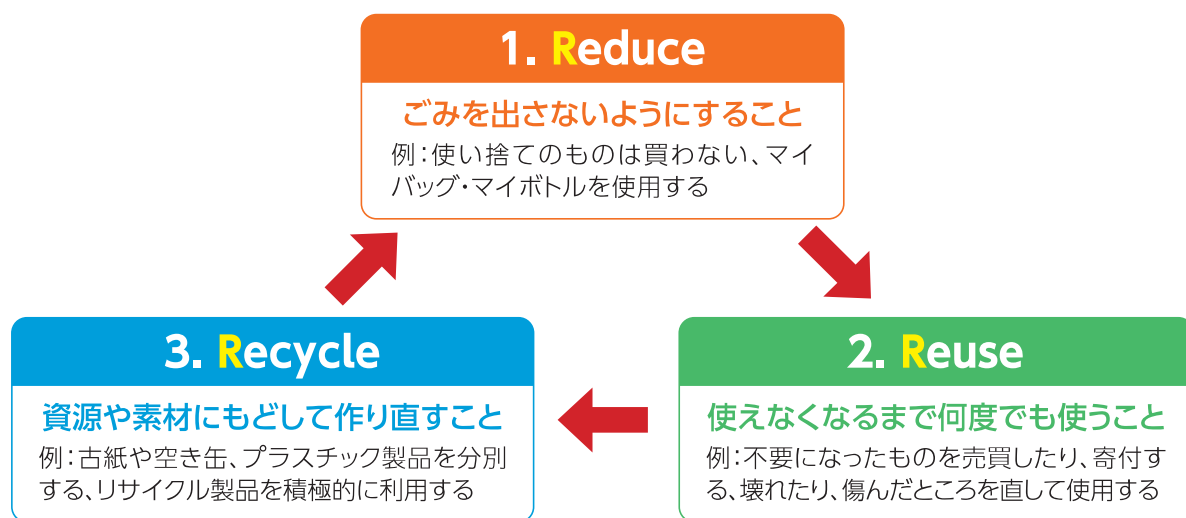
1992年の東京都埋立処分場
(収集したごみをそのまま埋立していた)

出典：植野正明他『写真で振り返る東京の清掃事業』2011年

大量廃棄はごみの焼却によるダイオキシンの発生、最終処分場（埋立）のひっ迫となりました。そこでごみを減らそうと2000年に循環型社会形成推進基本法を成立させ、3R政策を打ち出しました。2005年の主要国首脳会議（G8サミット）において、当時の小泉純一郎首相は、3Rを通じて循環型社会の構築を目指す「3Rイニシアティブ」を提案しました。

■ 3Rの取り組み

取り組みの優先順位は、**R**educe ⇒ **R**euse ⇒ **R**ecycle です。



■ 横浜市の取り組み

横浜市は、「ヨコハマ プラ5.3（ごみ）計画」（一般廃棄物処理基本計画）を策定し、3Rと安定的なごみ処理に加え、燃やすごみに含まれるプラスチックごみの削減に力を入れています。



目標

2030年度までに燃やすごみに含まれる
プラスチックごみの量を2万トン削減(2022年度比)

1人あたりに換算すると ▲5.3kg / 年

引用：横浜市『ヨコハマ プラ5.3計画 横浜市一般廃棄物処理基本計画2023年度～2030年度（概要版）』/ チラシ（A4サイズ）

はじめに

リユース
(再使用する)

修理・修繕・
補修する

リサイクルする

片付けを依頼する

空き家の管理と活用

サステナブル・資源循環
社会の主なキーワード

地域のお店事業者・業界団体・
国が定める指定法人

法律の豆知識